

第10回 長南町過疎対策検討委員会議事録（要旨）

平成25年6月21日（金）

庁舎分館2階第一会議室

18時30分から

出席者 過疎対策検討委員会委員8名 アドバイザー1名

傍聴者4名

事務局 常泉、小澤、相澤

会議資料

- ・過疎対策提言書作成行程表
- ・空き家を活用した長南町への定住促進
- ・「市」による交流人口の拡大と町の活性化
- ・アメリカ田舎町のフェスティバル紹介

1. 委員長あいさつ（岩瀬委員長）

今日は第10回目の検討会になります。今まで政策の面でだいぶ煮詰めてきたと思いますが、今後提言として取りまとめていくためにも、今が一番大事な時期だと思いますので、本日も素晴らしい意見をいただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

「過疎対策提言書作成行程表」を提示し、このようなスケジュールで提言書をまとめていただければと思います。

行程表の内容について説明。

空き家・市の開催・情報発信の3つの政策については、7月から内容を精査してまとめていく。それと並行して産業振興・福祉についての2つの政策についても課題を抽出していただいて今後の政策を抽出していきたいと思っています。そして、9月の終わりには提言書中間とりまとめとして、町に提出していきたいと考えています。

特に、初めの3つの政策については、26年度予算に反映できるように間に合わせたいと考えています。最終的な提言書については、10月より内容をさらに精査し、12月末には町に提出したいと考えています。

時間的に大変厳しい面もあると思いますが、よろしくお願いいたします。

（西田委員）

町民に対して、過疎対策が必要だというアピールについても検討の中で並行して行っていったほうがよいと思う。検討委員会での検討内容について町のホームページのみならず情報発信したほうがよいと思います。

2. 検討・協議の内容

委員長：前回からの協議内容が途中となっていたものから進めていきたいのですが、まず、「市」部会から説明をお願いします。

（池田委員）

生産組合が17団体ありそのような団体に是非参加していただきたいです。また、長南町が町民をあげて市を復活させるということがコンセプトであります。

月に1回やるなかで、参加する個人などが手一杯にやるのではなく、気軽にやれるようにすることが必要であります。

また、個人ではなくても地区でつくったグループや小学校や中学校などのグループでの参加もいいと思います。いろんな形のグループでの参加ができるのではないかと思います。

出店の募集方法は、チラシやインターネットやシティーライフなどの新聞広告などを使い話題提供をすることが大事であります。

開催場所はまだ未定であるが、町中の道路（県道）を模索しています。

だが、通行止めにして、バスを通すといったときにやはり現実的に難しい問題だとも思っていますが、月に一日だけだし、それも日曜日なのでバスの通行回数も非常に少ないことから、なんとか町が関係部署と協議してもらい実現できるよう努めてほしいです。

とにかくやってみましょう。それが市のコンセプトです。

（佐久間委員）

商工会にお話しに行ってきました。

商工会長とお話をしてきました。商工会として県より「何か活動をしなさい」と指摘を受けており、改善策として軽トラ市を検討しているとのことでした。また商工会では、銚子で行われている軽トラ市を視察に行ったそうです。

商工会は、商業・工業・サービスの部会に分かれているようですが、工業については市は難しいようで、商業とサービスの部会について検討しているとのことでした。

場所は、商工会の駐車場で行える規模で考えているようです。そこでまずやってみて、出てきた問題について解決しながら進めていこうと考えているとのことでした。

過疎対策の提案書をもとに商工会が町と一緒にやってもらえたらいいのではないかと思います。

(岩瀬委員長)

委員の皆さんのご意見は何かございますか？

(石田アドバイザー)

誰をターゲットにするかによって変わるが、他の地域から来る人を呼び込むのであれば、駐車場なども必要となってきます。

駐車場がある場所でやっていることが多いので、開催場所の検討のなかで選定条件とすることが良いと思います。

(長谷川委員)

開催場所が魅力的ということが大事だと思います。

ある物を利用する具体的な例として、今回カルフォルニアのお祭りがありましたので、長南町に置き換えてみました。(資料を提示)

この町は通りが一本あって教会があって、酒場ができ、宿場ができ、店がどんどんできていったところです。昔の西部劇のようなイメージの地方都市で、人口も7,000人程度で長南町とほぼ同数です。

国立公園へ向かう観光バスが通過する町であり、そういった意味でも長南町と似ている部分があると思います。そんな田舎町で、蝶蝶をコンセプトとして様々な取り組みをしています。まず一つ目は、蝶蝶の保護活動として、300円程度で蝶蝶を売って、放す(リリース)ことをしています。とにかく、町中レストランでも雑貨屋でも蝶蝶を活用した取り組みをしていて、そんなにお金をかけてやっているわけではありません。また、蝶蝶をモチーフとした帽子コンテストが行われたり、蝶蝶を使った仮装コンテストが行われたりしています。

テントを活用した市の様子もあるが、これは、ほとんどが個人が持ってきたテントを使用しており、一般や業者を問わず出店することが宣伝の場となるという位置づけとなっています。

長南町にもいろいろな特産物があり、また、最近はマスコットキャラクター「ちょな丸」もでき、このような長南の良いものを上手に活用してイベントをしていくのもよいと思います。それと、写真コンテストを一つ提案してみたのですが、長南の外から写真を撮りに来る人が長南町の良いところを写真に収めていただき、長南町に住んでいる人が長南町の良いところを再認識することができるということがございます。

また、パレードも良い取り組みの一つだと思います。これは、個人アピールの場として人が集まり、さらにそれを見に来る人たちもできるので、人がたくさん集まると思います。

このように、来場者と出店者、さらには町民とがそれぞれ良くなるといった構造を作れるのではないかと考えております。

(岩瀬委員長)

やはり、県道の交通規制については、いろいろな問題があると思いますが、町に積極的に関与していただいて実施できるようにしたいです。

そうしますと、市の部会のほうは大体まとめられましたね。今日の案を取りまとめていただいて提言書を作ってみてください。

次に情報発信部会をお願いします。

(白井委員)

アクセス数ログ解析を行うことにより、町のホームページにアクセスする人の求めている情報の傾向や、こういった志向の方がこういった情報を求めてきているのかなどといった統計を取ることで、より効果的に情報の発信をしていくことができるようになります。

(池田委員)

町(行政)の情報発信より、一宮や睦沢でやっている、地元の情報を発信するのがよいのではないのでしょうか。

(白井委員)

町の facebook を新規に作り、情報発信部会で管理運営し、町との連携として、町のホームページで、バナーを貼るといった取り組みを検討しています。

(長谷川委員)

Facebook やブログ的な情報発信は、行政が行うより、我々のような第3者の組織が行うほうが良いと思います。

(石田アドバイザー)

目的を明確にする必要があると思います。

町ぐるみで何かを作ろうとする行動のなかで、ホームページは情報提供するツールの1つの手法であります。全体の取り組みの中で、弱い部分を補って情報発信していこうというのが政策だと思います。

発信するシステムができていないから今後どうやって構築していくのかが政策になってくるのではないのでしょうか。そのためには、町は何をしなければいけないか、町民は何をしないとイケないかを考える必要があると思います。

(長谷川委員)

まず、何から手をつけるか考えないといけないと思います。

長南町で行っているイベントは、実はすごくたくさんあります。しかし、広報活動が不十分なため、人がなかなか来ません。知ってる人にとってはうれしいことですがもったいないと思います。ほたる鑑賞会などでも、来場者が想像していたよりもすごいので、すごく喜んで帰られる方が多いです。ともかく、情報発信の仕方をすこしひねるだけで、人々の反応が変わってくると思われま

す。例えば、花火大会のシートを販売していることを情報発信して、町外からの来場者を増やす方法もあります。チラシは入っていても、町民もなかなか読まない

(西田委員)

おそらく町長さんたちは、町民のためを思ってやっておられるのではないのでしょうか。たとえば、ホタル観賞会などでは、あまり町外からお客さんが増えると、ホタル生息の環境をあらされてしまうのではないかと、花火大会も交通の面において、警察からの指導があって呼び込みを積極的に行わないのではないかと考えます。しかし、こういった問題をうまく改善することによって町外からのお客さんが来たり、また、定住につながったりすることが、過疎の改善になっていく、そういった情報の提供をすることが必要だと思います。

(岩瀬委員長)

それでは、情報発信部会の委員さん今出たご意見をまとめていきましょう。

産業振興、福祉の関係については、皆様から様々なご意見をいただいておりますが、次回に政策として提言する案を選定していただきたいと思います。

(池田委員)

若者が興味を持つ産業を町の中心に持って来ようという大胆な政策をとれば人は集まってくると思います。たとえば、今の若い世代の方は、ITに係る産業に就業している方が多いですから、そのような産業を誘致することも必要だと思います。

(長谷川委員)

IT就業者の住むのに適した場所という情報発信ができれば、そういった方々が長南町に住むかもしれないと思います。

今、都会の人たちは、安全な農業ができる場所を探しています。自分達が

食べる分は、安全なものを作りたいと考えています。そういったなかで、耕作できる土地を無償で貸してしまうとか、具体的な活動をしていくことが重要であり、空き家の活用などにもつながると考えます。また、住む人たちが増えると、ここで会社を作ろうかと考える人たちも出てくると思います。

(石田アドバイザー)

大多喜町さんは、貸しオフィスを作って活用していただいている。そのような取り組みをしているうちに、ここに住んでみたいといった方々も出てくると思います。

(田島委員)

いすみ市などでは、畑つきアパートなどの貸し出しも行っているようです。長南町でもそのようなものがあると面白いと思います。

(西田委員)

町民が参加して過疎についてが考えることができるフォーラムみたいなものを開催することはどうでしょうか？

(岩瀬委員長)

それについては、政策として提言していくようにしましょう。

(西田委員)

委員の追加についての進捗はどうなっていますか？

(岩瀬委員長)

町と相談するなかで農業関係については、ある方のところについてお話ししてこようと思っています。

商業関係については、商工会長にお願いしようと考えています。

また、2名では足りないようであれば、事務局とも相談して追加していきたいと思います。

産業の振興と福祉関係については、案を1人3つは出すようにしましょう。

(岩瀬委員長)

それでは、9月末を目標に中間の取りまとめを行うということで進めていきたいと思います。

次回については、政策の書式に基づいてまとめていただきたいと思います。それを皆さんにご確認いただいて、意見をいただいて修正を加えていき

いと思います。

また、産業振興・福祉のことについて案をいろいろ出していただきたいと思います。

次回の会議は、7月12日（金）、午後6時30分から行います。場所は、分館第一会議室になります。

長時間にわたりご協力をいただきありがとうございました。以上で会議を閉じます。

午後8時30分閉会